

授業科目名	応用スポーツ心理学			授業形態	講義		授業科目区分		専門科目 (応用科目)
担当教員名	森 司朗						補助担当者名		
単位数	2 単位			履修年次	3年次		受け入れ人数		－
授業の概要	この科目は、心理的な立場からより効果的な運動指導のするための能力を身につける科目である。具体的には、2年次で履修したスポーツ心理学の講義の内容を発展させ、より質の高い指導者として把握しておくべき最近のスポーツ心理学に関する理論及び知識を習得することを目的とする。授業内容は運動学習、動機づけ、心理学な観点からのジュニア期の運動指導のあり方などを中心に行う。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標			成績評価の方法					
				授業期間				定期 試験	その他
	授業	テスト	レポート	発表					
	■認知的領域	スポーツ心理学の応用知識を理解している自分の運動経験をスポーツ心理学の知識を応用して解決できる		○	○		○		90
	■情意的領域	主体的に授業に取り組む	○						10
□技能的領域									
成績評価の基準	出席2/3以上で、授業内容の総合理解が6割を超えていることを合格の条件とする								
テキスト、教材 参 考 書	杉原・船越・中込編著「スポーツ心理学の世界」（福村出版）								
履修条件・ 関連科目	1年次にスポーツ心理学、スポーツカウンセリング論を履修していることを授業条件とする			備考(教員メッセージ含む)		テキストに沿って授業を行うので、必ずテキストの準備をし、予習をしておくこと			
オフィス・アワー	月～金までの授業・各種委員会会議などを除いた空き時間～17時 702研究室、体育心理学実験室								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	森 司朗	オリエンテーション：スポーツ心理学とは							
2	〃	学習理論から導かれる練習・指導1							
3	〃	学習理論から導かれる練習・指導2							
4	〃	学習理論から導かれる練習・指導3				レポート			
5	〃	試合場面でのパフォーマンスの低下1							
6	〃	試合場面でのパフォーマンスの低下2							
7	〃	試合場面でのパフォーマンスの低下3				レポート			
8	〃	状況判断能力を養う1							
9	〃	状況判断能力を養う2				レポート			
10	〃	全身協応運動の獲得1							
11	〃	全身協応運動の獲得2							
12	〃	子どものスポーツ指導のあり方（体の側面から）1							
13	〃	子どものスポーツ指導のあり方（体の側面から）2							
14	〃	子どものスポーツ指導のあり方（心の側面から）1							
15	〃	子どものスポーツ指導のあり方（心の側面から）2							
16	〃	学期末試験							